

きらり! 情報局

身近な場所でも、男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会の実現を目指して活動が行われています。身近な地域の「きらり!」とした情報をご紹介します。



すずめ食堂 代表 佐藤くみ子さん

ごす夜、そうできない家族もあると思ひ、この日にしました。その後、2017年4月から定期的に月1回大岡山東住区センターで行っていました(2020年3月から休止中です)。

活動の内容は?
活動を見てきたことは?

そもそも孤食の子のために始めたのですが、現状は保育園帰りの母子が圧倒的多数です。以前保育園でチラシを配ったので情報が伝わったものと思います。忙しく働いている親にとって、月1回でも、帰宅後急いで夕食を作らなくてよい日、血洗いをしなくてよい日があることはとても大切なことです。親子にとっても大切なことです。親子にとっても大切なことですが、子育てで相談にのれる場にもなっています。

地域にそういう昔の井戸端みたいな気軽なしゃべれるホッとする場所があるのは、意味のあることだと思います。「お客さんと主催者」という関係でなく、お互いにホッとする場になっています。

始めは大勢の時「満員御礼」で断っていました。残念そうに帰っていました。予約制を取り入れていきます。常連十当日参加も含めて60食+スタッフの分+予備で100食位作ります。住区の2階を借り切り、4つの会議室と料理室を利用。10数

コロナ禍での活動は?

人のスタッフで続けてきました。料理長がとても上手で、おいしいので、「うちの子野菜食べないけど、ここでは食べるの」と言うお母さんが何人もいます。スタッフには、少年少女センターの「遊びの達人」もいますし、いろんな人がいます。「仲良く、みんなで話し合って決める」をモットーに、スタッフニュースも発行し、組織づくり・係分担任をしています。

一斉休校が始まってしばらくして、給食の代わりに支援として、都や区の助成を受けて「100円弁当プロジェクト」をしました。協力店を開拓し、4軒OKをとり、子どもが100円持って行けば弁当が買えるようにしました(5月、6月18日)。住区センターの利用に制限がかかり、食堂はやむなく休止となりましたが、6月末からは、世代の違う子どもたちとボランティアと一緒に調理し、一緒に食べる「ランチキック」も始めました。人数は15人以下と限られますが、楽しみにしているようです。



夏休みに入ってから(8/1)24(ランチ券を持ってお店に行ってお店に食べるとは100円でランチを始めました。2店が協力してくれ、おじいちゃん子ども目も目を向けてくれるようになりました。リモートワークをしている家庭で、育児と仕事がないままになり、ストレスがたまっていくという話をよく聞きました。少しでも癒しになる場があればと思います。

9月・10月からは、月2回「ランチキック」をしています。なるべく大勢の子に、密にならずに安心して参加してもらえよう、参加は月1回までとしています。

異年齢集団で過ごす貴重な時間にもなっています。今年いっぱいには食堂ができればいいので、コロナ対策を徹底した上で継続していく予定です。学校の協力もあって、地域の小・中学生全員にチラシを配っています。

中高生の居場所 すすめ食堂付属「木よう塾」

ボランティアに来てくれた中学生に学習の保障をしてあげたい、ゆっ

取材を終えて

まだまだ男女平等が実現していない社会で、仕事と子育てを両立するにはさまざまな困難があります。人と人がつながり助け合うことが必要なのに、現代はそういうつながりの場が少なくなっています。子ども食堂は、食を通して、話したい・つながりたいという当たり前の気持ちを受け止める、親子の居場所になっています。このコロナ禍の中でもできる方法を探しながら続けている、スタッフの気概・パワーはすばらしいと思いました。

佐藤さんが、「子どもはどんどん成長していきます。今の1日1日がかげがえのない時間、今しかできないことがあります。」と締めくくった言葉が、印象的でした。

(取材担当: 深山・塚本)
★「きらり!情報局」は、目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会のメンバーが取材・執筆しています。

登録団体の紹介 会員の皆さんに紹介いただきました。

女性差別撤廃条約実現アクション加盟

めぐろ ジェンダー平等の会



2020年1月、目黒区で暮らす7人の女性の呼びかけによる学習会、「誰もが性別にとらわれず、自分らしく生きられる社会をめざして」を機に、有志により結成しました。

学習会の講師は、ジェンダー法・労働法博士の浅倉むつ子先生です。(講師の浅倉先生は目黒区のオンブズでもいらつしやいます。)

当初私たちの活動は、会としての機能を充実させるため事務局活動が中心でしたが、一人ひとりがジェンダー平等に対する熱い思いで、大切な土台作りの仕事に全力投球でした。

省みればこの活動は相互理解を深める意義深い時間にもなっていました。しかしながら、私たちを取り巻く社会状況は、国民のだれもが初めて経験した緊急事態宣言下でしたから新団体の発足には何とも厳しい状況でした。それでも4月には目黒区男女平等・共同参画センターの登録団体に登録、目黒女性団体連絡会にも加入しました。新年度からの活動の波に乗れるよう必死で準備しましたが、緊急事態宣言下であり、念願の設立総会は公共施設の利用ができるまで待たねばなりませんでした。

6月16日、公共施設利用再開の初日、ようやく設立総会を開催!メンバー全員参加とはなりませんでしたが、欠席者からのメッセージもあり、プログラム「自己紹介と語り合い」の

私たちの願い

- 生と性の教育を子どもの成長に合わせて幼少期から取り入れたい
- 性別による賃金格差を無くしたい
- 偏りがちな家事労働のバランスを変えたい
- より多くの女性が社会的に責任ある仕事につける環境をつくりたい
- 性別によるあらゆる差別や格差を無くしたい

時には一人ひとり、この会に関わる願いや体験(人生)を語り合い、重ね合い、血の通った会として胸の熱くなる設立総会を持つことができました。

この設立総会で確認した基本理念です。

- ・日本国憲法にのっとり、平和と民主主義を尊重し、性による差別の無い社会の実現を目指す。
- ・「目黒区男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」の推進。

国際基準の女性の地位向上、権利獲得を目指す。

取り組みたい課題は沢山ありますが、残念なことにコロナ禍では思うように活動できず他団体の学習活動に参加させていただき学習を重ねています。皆さんと一緒にジェンダー平等を進めて、性による差別や格差・暴力の無い社会を目指しましょう!

お問い合わせ先

めぐろジェンダー平等の会

代表: 中島みち子
☎ 03 (3719) 9516

定例会: 第3木曜日 午後2:30 ~
男女平等・共同参画センター研修室
年会費: 1000円

入会お待ちしております!

